

日付	JIS番号：発効年 規格名称	件名	問合せ内容	回答
2022. 11. 9	JIS A5031（一般 廃棄物，下水汚泥 又はそれらの焼却 灰を溶融固化した コンクリート用溶 融スラグ骨材）	JIS A5031 附属書C ポップアウト確認試 験 煮沸法で引用する 箇条	JIS A5031 附属書C 溶融スラグ骨材のモルタルによる ポップアウト確認試験方法 C.5 a) 3)に、「供試体の煮 沸は，JIS R 5201の9.4（操作）による。」と規定されて おりますが、JIS R5201の「9.4 操作」には凝固試験にお けるセメントペーストの練り混ぜ、作製、凝固の始発及 び集結の測定等が定められており、煮沸法の操作とは異 なるように見受けられます。 JIS R5201の引用の箇条は、安定性試験における煮沸、冷 却、膨張性等の確認が定められている「10.5 操作」では ないでしょうか。	ご指摘の通り、煮沸試験方法の引用先JIS R 5201については、2015年 の改正で箇条番号にずれが生じております。改正前（1997年）は 「9.4 操作」となっていましたが、2015年の改正で「10.5 操作」 になっておりますので、読み替えて運用してください。なお、JIS A 5031は次回改正時に整合させる予定です。